

イブキジャコウソウで法面を被覆して 畦畔管理を省力・軽労化

草刈作業を軽減

雑草の発生を抑え、草刈回数を減らせます

景観が向上

小さいピンク色の花が咲きそろいます



イブキジャコウソウの花

イブキジャコウソウとは

日本に自生するシソ科のイブキジャコウソウ属に属する植物で、爽やかな芳香が特徴

一般に草丈は10~20cm、地表を這うように伸長するほふく性の植物
寒さにも強く、雪の下でも大丈夫

イブキジャコウソウを畦畔法面に定植すると、翌年には全面を被覆し、雑草の発生を抑えます
被覆後は1~2年に1回程度の刈り込みを実施することで維持できます
草刈の回数を減らし、畦畔管理の省力化や軽労化が図られます

栽培ごよみ

※この栽培方法は(公社)岩手県農産物改良種苗センターが供給する苗を使用した場合のものです。

	1年目(定植年)						2年目以降
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
作業内容	挿し木		育苗			防草シート除去	刈り込み (1~2年に1回程度)
	定植前除草		定植				除草 (必要に応じて)
生育	50穴セル苗		防草シートを使って定植		防草シート除去後(9月)		2年目(7月開花期)

岩手県農業研究センター

公益社団法人 岩手県農産物改良種苗センター

苗の準備

苗は、法面100㎡当たり13枚（50穴セルトレイ×13枚）準備して下さい。
初めて取り組む場合は苗を購入してください（購入先は下記のとおり）。
購入後は、挿し木による増殖で苗を育成することができます。

苗の購入先：公益社団法人 岩手県農産物改良種苗センター

TEL 0197-35-8505

※ 苗の準備のため、定植予定の1か月以上前に予約を入れてください。

苗を育成する場合

挿し木による増殖で苗を育成します。時期は4月下旬～6月上旬。

挿し木



挿し穂の採取



5 cm



挿し木

挿し穂として株の先端から長さ4～5cmの部分を取ります。

50穴セルトレイに育苗用培土（ソイルフレンド等）を充填・灌水し、一つのセルに3本挿す。

育苗

育苗期間は1ヶ月程度です。



7～10日間遮光



育苗管理

挿し木後7～10日間は40～60%程度の遮光。
その後は遮光幕を除去して管理。

【温度管理】

ハウス内の温度は15～25℃で管理。
（必要に応じて被覆資材使用）

【水管理】

頭上かん水（朝夕1回程度）。

【その他】

市販の培土では追肥は基本的に不要ですが、葉色が薄い場合は液肥等で追肥を実施（50穴セルトレイ1枚当たり窒素2～3g程度）。

枯れた葉などは、適宜除去。

定植前の準備

定植前除草の徹底

定植予定日の2～3週間前を目安に水田畦畔に登録のある除草剤（ラウンドアップ等）を散布し、定植法面の地肌が見えるようにします。
この除草が不十分な場合、定植後の雑草の発生が多くなりますので注意してください。



定植の2～3週間前に除草剤散布（ラウンドアップ等）



除草が不十分な場合は雑草発生

定植

定植の時期は5月下旬～7月中旬が適期。

作業の流れ

防草シートを設置



植え付け部分に
切れ込みを入れる



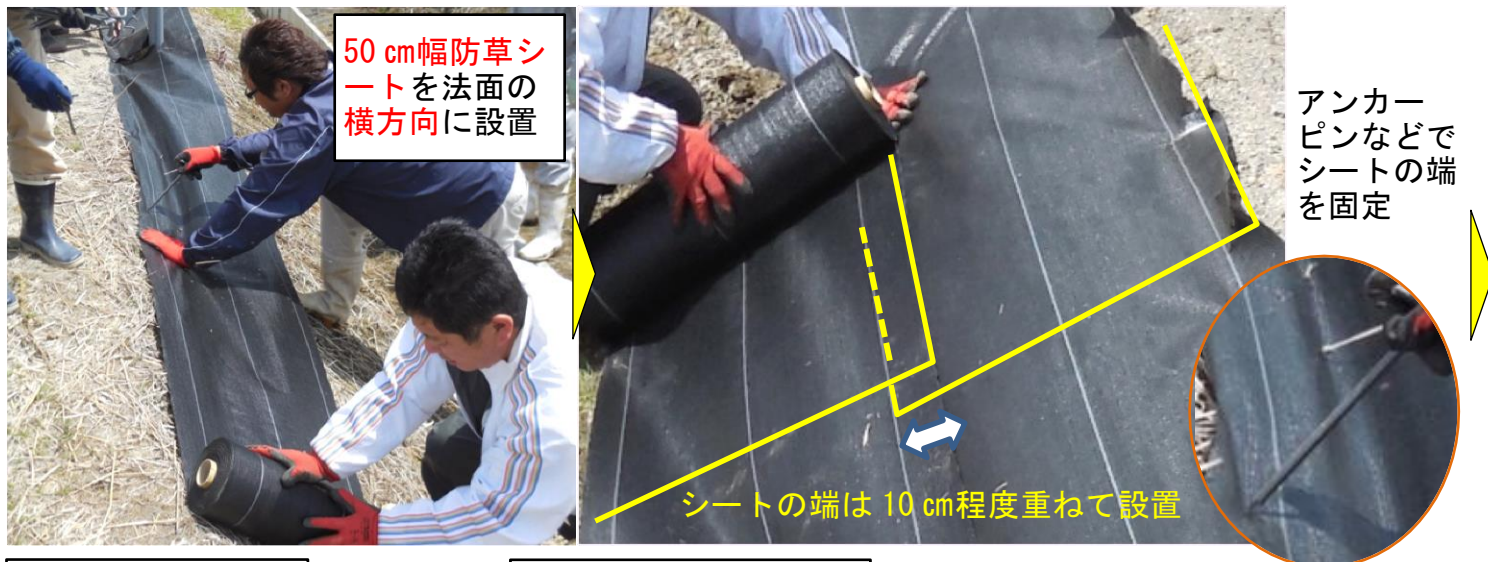
定植

(使用資材等) 50 cm幅防草シート、固定ピン

はさみ、メジャー

苗、移植ベラ (シャベル)

防草シートの設置



切れ込みを入れる

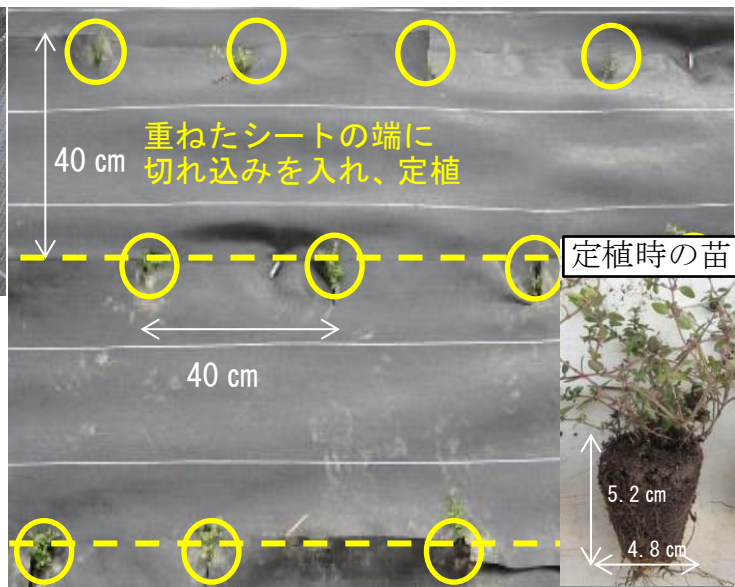
千鳥状にずらして定植

切れ込み部分に移植ベラ等で定植



防草シートの両端に40 cm間隔で、列毎にずらして千鳥状に切れ込みを作成

右図の  の場所



※定植時の留意点

- ・ 苗には、定植前に十分に灌水してください。
- ・ 定植後の法面への灌水は通常不要です。ただし、法面が乾燥している場合は灌水を実施してください。

定植には向かない場所

※畦畔天板及び法面中段ステップなどは歩行に支障をきたすため定植しないで下さい。

※土壌が極端な湿潤条件(常時、水がしみでているような場所など)では生育不良となるため定植を避けて下さい。



防草シート除去

定植1年目の秋（9月頃）になり、隣の株と接触し全体を覆ってきたら防草シートを除去します。シートを除去し株全体の根を土に伸長させます。

強引にはがすと株が抜けるので注意してください。

防草シートは、丁寧にはがすと数回再利用できます。



定植1年目 9月



防草シート除去

2年目以降の管理

刈り込み

過繁茂を防ぐため、植生の高さが30 cm程度以上になったら、**1～2年に1回程度**、株の上部を刈払機等で刈り込みします。刈り込む高さは10～20 cm程度とし、10 cm以下の刈り込みはさけて下さい。

時期は**5月～6月上旬頃が適期**。



高さ10 cm刈込 5月



9月の状況(植生回復)

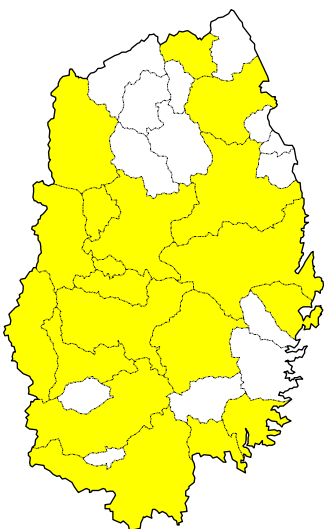
除草

草丈が高くなる雑草などは、十分に抑草できない場合があります。雑草の発生程度を確認し、発生が目立つときは抜き取りなどにより除草してください。

追肥

葉色が淡く生育が劣る場合は、追肥を実施(緩効性肥料で100 m²当たり窒素200g程度)。

岩手県内の取組事例



■ : イブキジャコウソウ栽培の取組事例がある市町村
(平成29年末時点)



盛岡市玉山区柴沢地域



久慈市宇部地域



矢巾町北伝法寺地域



紫波町片寄地域

取組は、「多面的機能支払交付金」や「中山間地域等直接支払制度」を活用して、各地域の組織的な活動の中で実施する場合があります。

【お問い合わせ】

岩手県農業研究センター プロジェクト推進室
公益社団法人 岩手県農産物改良種苗センター

岩手県北上市成田 20-1 TEL0197-68-4412

岩手県奥州市江刺愛宕字八日市 69-4 TEL0197-35-8505